

ワンパーセント  
公益財団法人 **イオン1%クラブ**

〒261-8515 千葉県美浜区中瀬1-5-1  
TEL:043-212-6023 FAX:043-212-6461



<https://aeon1p.or.jp/1p/>  
活動の詳細はホームページへ

2023.06

公益財団法人  
ワンパーセント  
**イオン1%クラブ**  
概要書

自然や仲間と触れあい、  
子どもたちの考える力を育み、  
笑顔あふれる未来を目指します。



### 子どもたちの健全な育成

環境・社会をテーマに、子どもたちが社会的なルールを学びながら身近な地域の問題を主体的に捉え、考える力を育てます。また、教育施設が不足する国々の学校建設などを支援します。



### 諸外国との友好親善

学生たちに国際的な文化・人材交流の機会を提供し、相互理解を深めることで日本と諸外国との友好親善を深めます。また、アジアの大学生に対する奨学金授与など、国際人の育成を支援します。



### 地域の発展への貢献

地域に根ざし、次代に引き継ぐべき伝統行事や文化の継承、そしてこれらを担う人材の育成などを支援します。また、大規模自然災害により被災した地域の復旧・復興を支援します。



## 目次

ご挨拶 ..... 03

設立の経緯 ..... 04

### 子どもたちの健全な育成

イオンチアーズクラブ ..... 05

中学生作文コンクール ..... 11

イオンエコワングランプリ ..... 13

学校建設支援 ..... 15

イオンユニセフ

セーフウォーターキャンペーン ..... 16

### 諸外国との友好親善

ティーンエイジアンバサダー ..... 17

アジアユースリーダーズ ..... 19

イオンスカラシップ ..... 20

### 地域の発展への貢献

ふるさと未来支援 ..... 21

緊急災害復興支援 ..... 23

首里城復興支援プロジェクト ..... 25

イオンワンパーセントクラブのあゆみ ..... 27

イオンチアーズクラブ参加者の声 ..... 29

2023年度活動予定 ..... 30

理事・監事・評議員一覧 ..... 31

特別寄稿～寄付協賛企業代表より～ ..... 32

寄附企業一覧 ..... 33

イオンワンパーセントクラブからのお願い ..... 34

## ご挨拶

当財団の活動に対し、ご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。イオンワンパーセントクラブは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオングループの基本理念を具体的な行動に移し、社会的責任を果たすことを目的に、グループ各社の参画のもと、1990年に設立されました。

以来30年以上にわたり、お客さまにイオングループをご利用いただき、生まれた利益の1%相当額をもとに、「子どもたちの健全な育成」「諸外国との友好親善」「地域の発展への貢献」を柱に、環境・社会貢献活動に取り組んでいます。

新型コロナウイルスの感染拡大や、ウクライナ情勢をはじめとする社会的な緊張の高まりは、サプライチェーンの寸断等による資源価格の高騰を招き、各国の経済や人々の生活に影響を及ぼしました。すべての人が安心して暮らせる、平和で持続可能な社会を築くため、さらなる行動が求められています。イオンワンパーセントクラブは、国や組織の垣根を越えたさまざまな立場の方々と対話や協働を進めてまいります。

2023年は、小学生を中心に自然や環境について体験学習を行う「イオン チアーズクラブ」を重点事業と位置づけ、それぞれの地域の店舗を拠点に子どもたちが無意識のうちに環境について学ぶことができる新たな活動プログラムの開発等に注力します。

また、日本とベトナムの外交樹立50周年など、節目となる行事に即した事業を行うとともに、対外発信力を高め、事業展開を図っていききたいと考えています。

当財団はこれからも、笑顔あふれる未来を目指し、子どもたちの健全な育成、諸外国との友好親善、地域の発展に貢献してまいります。

公益財団法人 イオンワンパーセントクラブ

理事長 森 美樹



## 設立の経緯

企業による社会貢献活動が、日本において未だ本格化していなかった1990年、ジャスコ株式会社代表取締役会長（当時）岡田卓也の提唱により、「イオングループ1%（ワンパーセント）クラブ」が設立されました。

ジャスコ誕生20周年を機に、「絶えず革新し続ける企業集団」として、『『平和』を追求し、『人間』を尊重し、『地域』に貢献する』という新生イオングループの基本理念の具現化を図り、社会的責任を果たすことがその趣旨でした。

企業の業績にかかわらず継続的に活動するため、グループ主要企業各社が税引き前利益の1%を拠出し、事業の柱を「環境保全」「国際的な文化・人材交流、人材育成」「地域の文化・社会の振興」と決めました。

各事業で取り組む社会貢献活動の原点は、イオンの前身のひとつである岡田屋の時代に遡ります。1958年、親を亡くした子どもの嘆きを表した中国の故事「風樹の嘆」にちなんで名付けられた「風樹会」という交通遺児育英会を組織し、1カ月の学費に相当する金額を、毎月5名の高校生奨学金として給付しました。この活動は後に提携した企業にも受け継がれ、企業の規模にかかわらず「できることから始める」という企業風土を醸成するきっかけとなりました。

2017年、岡田卓也が理事長をつとめる公益財団法人岡田文化財団による給付型奨学金制度として復活し、大学進学を目指す高校生への学資支援を行っています。



→寄付・協賛企業一覧はP33を参照

# 実際に見て、触れて、考える



にんじんの収穫体験

## イオン チアーズクラブ 小学生 中学生

小中学生を対象とし、自然や環境などに興味や関心を持ち、考える力を育む場として、全国400店舗を拠点に体験学習を行っています。各クラブは、「環境・社会」に関する独自のテーマに沿って活動を行い、1年間の成果を壁新聞にまとめています。毎年2月から3月に、9つのエリアで壁新聞の発表大会が行われ、入賞したクラブは、全国大会に出場しています。

### 2023年度の活動予定

農作物の栽培などの農作業を体験する場としてチアーズ農園を開園します。また、昨年度に引き続き、お金について楽しく学び体験する金融教育イベントの開催を予定しています。



現在参加しているメンバー

4,209人

全国で活動しているクラブ総数

396クラブ

※2023年3月時点



川の生き物調査(広島県)



南関東大会入賞クラブの壁新聞(イオンチアーズクラブ橋本)

## ■イオン チアーズクラブ ウェルシアつくば

2022年9月、茨城県つくば市内のウェルシア薬局2店舗との連携により、新たにイオン チアーズクラブ ウェルシアつくばが活動を開始しました。

### 稲刈り体験と薬膳カレー作り

鎌を使った稲刈り体験のあと、お米に含まれる栄養素について学びました。また土鍋で炊いたご飯を使って「薬膳カレー作り」にも挑戦しました。



### 子ども薬剤師体験

ウェルシア調剤薬局で薬剤師の仕事について学びました。白衣に着がえて、お菓子を使った薬の包装に挑戦しました。



### にんじん収穫体験

つくば市内の農場で、にんじんに多く含まれる栄養素などについて学んでから、にんじんの収穫体験をしました。



### 壁新聞づくり

イオンモールつくばで、記事の書き方などについて学んでから、これまでの活動を模造紙にまとめて壁新聞を作成し、ご家族の前でチームごとに発表しました。



## ■わくわくキャッシュレス体験

2023年2月、イオンモール福岡で、近隣にお住まいのお子さまやイオン チアーズクラブのメンバーたちが参加し、キャッシュレス決済を体験する活動を実施しました。この活動は、キャッシュレスによるお買い物の利点について、肌で学んでいただくことを目的に、イオンフィナンシャルサービス株式会社のご協力のもと、2022年8月に続いて、2回目の開催となりました。

### キャッシュレスの利点について学ぶ

キャッシュレスは財布が不要となり便利であること、硬貨・紙幣に直接触れることがなく衛生的であること、硬貨・紙幣の製造・輸送・流通にかかるコストが削減できるため人と自然に優しい支払方法であることなどを学びました。



### お金と支払方法の変遷について、クイズや年表で学ぶ



### 電子マネーの支払いをするお客さま役と、レジ打ちをする店員役を交互に体験



### 手のひらと顔による生体情報を使った決済に挑戦



# 考えをまとめ、 書く力を養う



金賞受賞者代表による作文の朗読

## 中学生作文コンクール 中学生

中学生が、社会問題をテーマに自分自身の考えをまとめ、書く力を養うことを目的に、2003年から実施しています。金賞に選ばれた10名の中学生の皆さんを、東京で行われる1泊2日の食育ツアーに招待しています。2022年は、「食べ物から考える地球温暖化」をテーマに作文を募集。食品ロスの削減や地産地消など、自分自身の具体的な取り組みについて書かれた作品が、全国から数多く寄せられました。「食育ツアー」では、都心のビルに設置された“屋上養蜂場”で都市と自然が共生する様子を視察した後、環境に配慮した給食の献立についてディスカッションを行い、発表しました。

### 2023年度の活動予定

「環境」をテーマに作文を募集。  
受賞者には、エコツアーに参加  
いただく予定。

### 受賞作品はこちら



### 2022年度応募作品数

**2,002**作品

### 累計応募作品数

延べ**16,062**作品

※2023年3月時点



イオンワンパーセントクラブ理事長から表彰状を授与



各自で考えた環境にやさしい献立を発表



ご家族と一緒に記念撮影



©銀座ミツパチプロジェクト

銀座のビルの屋上で養蜂

# 広めよう、 エコ活動の環



内閣総理大臣賞受賞校(左/三重県立明野高等学校、右/愛媛大学附属高等学校)

## イオンエコワングランプリ 高校生

高校生が日ごろ取り組んでいる環境活動を発表します。他校の発表を聞くことで、新たな行動のきっかけをつかみ、表現力や発信力を向上させることを目的に、2012年より開催しています。第11回「イオンエコワングランプリ」の開催は、2次審査を通過した12校が都内で行われた最終審査会に出場しました。どの高校も、強い熱意をもって環境問題に向き合い、身近な課題の解決に取り組んでいる様子が伝わる発表でした。審査の結果、6校が内閣総理大臣賞(「普及・啓発部門」・「研究・専門部門」、環境大臣賞、文部科学大臣賞、イオンワンパーセントクラブ賞、審査員特別賞をそれぞれ受賞し、賞状と活動奨励金が授与されました。

詳しくはこちら

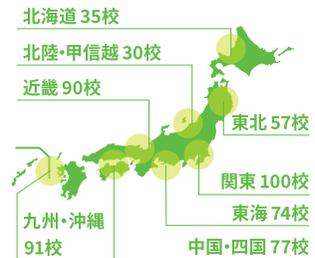


公式HP

<https://www.eco-1-gp.jp/>

イオン eco-1 検索

応募実績校数



2022年度応募件数

**99校 112件**

累計応募件数

**1,426件**

※2023年3月時点



審査会での質疑応答の様子



最終審査会に出場した生徒たちによるディスカッション



受賞を喜ぶ発表者(左/三重県立明野高等学校、右/愛媛大学附属高等学校)



ご来賓、審査員と一緒に記念撮影

# アジアの子どもたちに 学びの場を



新しく建設された校舎で勉強する子どもたち



UNICEF Cambodia/2022/Kemal Gaitnazarov

新たに敷設された水道の水で手を洗う子どもたち(カンボジア)

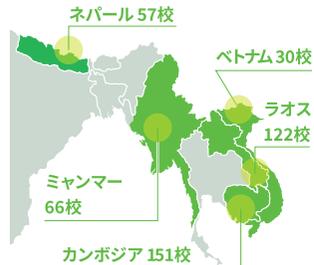
## 学校建設支援事業

「平和な社会の実現には基礎教育の充実が不可欠」という想いのもと、教育施設の整備が遅れているアジア5カ国において、2000年より学校建設支援を行っています。全国から寄せられた募金とイオンワンパーセントクラブからの拠出金を活用し、カンボジア、ネパール、ラオス、ベトナム、ミャンマーにおいてこれまでに426校の学校が完成しました。校舎の建設や給水施設の整備、学用品のほか、教員の養成など、ソフト面での支援も行っています。



### 2023年度の活動予定

東南アジアにおいて  
学校建設支援および  
教員研修を実施。



学校で学べるようになった子どもの数

約**37万人**  
Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y

これまで建設を支援した学校数

**426校**  
■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

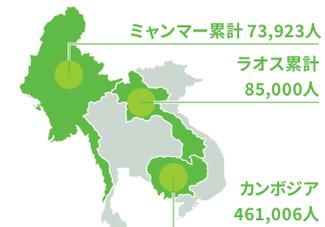
※2022年12月時点

## イオンユニセフセーフウォーターキャンペーン

カンボジア、ラオス、ミャンマーの一部地域では、遠方への水汲みに時間をとられ、学校で学べない子どもたちがいます。また、衛生的な水の確保が難しく、不衛生な池の水や、健康を害する恐れのある物質を含んだ地下水が生活用水として使われています。全国から寄せられた募金とイオンワンパーセントクラブからの拠出金は、2010年より公益財団法人日本ユニセフ協会を通じ、安全な水の供給や給水施設の設置に役立てられ、このような子どもたちを教育・健康の両面でサポートしています。



右/駐日カンボジア王国大使館 特命全権大使 トゥイ・リー 閣下  
左/公益財団法人イオンワンパーセントクラブ 理事長 森美樹



これまでの3か国累計

約**619,929人**  
■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

※2022年12月末時点

# アジアの国々をつなぐ 友好の輪



ベトナムの高校でノンラー(笠)に模様を描く日本の高校生

## ティーンエイジ アンバサダー (小さな大使) 高校生

日本と海外の高校生がペアとなり、互いの国を訪問し、国際的な相互理解と親交を深める交流プログラムです。文化や伝統、生活習慣の異なる同世代の若者たちが、「表敬訪問活動」「交流活動」「歴史・文化活動」の3つの活動を通じて交流します。同事業は、1990年より毎年実施しており、これまでに日本を含めた18カ国2,421名が参加しています。

### 2023年度の活動予定

日本とベトナムが外交関係樹立50周年を迎えるにあたり、11月に日本で、2024年1月にベトナム（ハノイとホーチミンの2か所）で活動を行い、相互交流を実施する予定。

海外プログラム 日本プログラム



これまでの交流人数

**18カ国**  
**2,421名**  
Y Y Y Y Y Y  
※日本人参加者も含む  
※2023年3月時点

### ■これまでの交流国

イタリア・インドネシア・英国・オーストラリア・韓国・カンボジア・タイ・中国・ドイツ・フィリピン・ブラジル・ブルガリア・ベトナム・ペルー・マレーシア・ミャンマー・ラオス・日本

## プログラム内容 約一週間のプログラムは3つの活動で構成されています。

### 1 表敬訪問活動

母国を代表する小さな大使として、各国の政府や大使館などへの表敬訪問を行います。

「日中未来友好宣言」を手交する  
日本と中国の高校生



### 2 交流活動

学校での授業体験やホームステイなど、相手のくらしにふれることで、ペア生徒との友情を育みます。



ホームステイ先で食卓を囲む日本の高校生

### 3 歴史・文化活動

伝統文化体験やその国ならではの史跡・施設の見学などを通じ、互いの国の歴史と文化を学びます。



ハノイの遺跡の前で記念撮影する日本とベトナムの高校生

# 国境を越え、多様な価値観を学ぶ



地球温暖化の防止に向けた行動宣言を発表する高校生

## アジアユースリーダーズ 高校生

アジア各国の高校生が、社会問題をテーマに視察や専門家によるレクチャーに基づき、英語を共通言語として議論を重ね、解決策を提案するプログラムです。異なる価値観を持つインドネシア、カンボジア、タイ、中国、日本、ベトナム、マレーシア、ラオスの8か国の高校生たちに、自分とは違う考え方や意見に対する理解を深め、視野を広げる場を提供し、次の世代を担うリーダーを育成することを目的とします。2022年は、「食べ物から考えよう、環境のこと」をテーマに、各国をオンラインでつないで開催しました。

### 2023年度の活動予定

「脱炭素社会の実現に資する持続可能な食の未来づくり」について、3年計画の3年目として食品の製造・加工の観点から考察し、プログラムを実施。



### 開催国とテーマ

- |                    |                                      |
|--------------------|--------------------------------------|
| 第1回 生物多様性 (ベトナム)   | 第8回 食と健康 (日本)                        |
| 第2回 持続可能な開発 (ベトナム) | 第9回 食と健康 (インドネシア)                    |
| 第3回 水と経済 (日本)      | 第10回 食と健康 (ベトナム)                     |
| 第4回 ゴミ問題 (インドネシア)  | 第11回 コロナ禍に伴う学校教育上の課題と改善点・打開策 (オンライン) |
| 第5回 大気汚染 (ベトナム)    | 第12回 食品ロス (オンライン)                    |
| 第6回 ゴミ問題 (中国)      | 第13回 食べ物から考えよう、環境のこと (オンライン)         |
| 第7回 水質問題 (タイ)      |                                      |

これまでの交流人数

1,136名

2022年度参加人数

70名

※2023年2月時点

# 日本と母国の架け橋となる



認定証を手に記念撮影をする京都大学の学生

## イオン スカラシップ 大学生

アジアの大学生を対象に、日本と母国の架け橋となり活躍して欲しいとの願いのもと実施しています。授業料と生活費の両方を支給しているほか、奨学生同士の交流会や宿泊研修、ボランティア活動などの機会を提供しています。

### 2023年度の活動予定

国内14大学に在籍するアジアの留学生及びアジア23大学に在籍する現地の学生に奨学金を給付。



認定証授与式で「私の夢」をスピーチする清華大学の学生

提携大学がある国



これまでの受給人数

7か国38大学  
8,305人

※2023年3月時点

# 地域のくらしと伝統を、 未来へつなぐ



おいらせ山車まつり

## ふるさと未来支援

地域社会の一員として、未来の子どもたちへ受け継ぐべき伝統文化や歴史風土の普及に取り組むとともに、地域でくらす人々が絆を深める機会を提供し、より良いコミュニティづくりを支援します。

### ■ 地域社会行事支援

地域に根ざした伝統文化や歴史の継承を目指し、日本全国のお祭りや伝統工芸等を支援しています。2022年は、数年ぶりに開催された地域行事などを支援しました。

これまでに支援した行事の数

**776件**

※2023年3月時点



成田牧野大神楽



盛岡ふるさと伝統工芸展

### ■ イオン すくすくラボ

「イオン すくすくラボ」は、地域社会の持続的な発展を目指し、地域の子育て世代をサポートするとともに、日本の童謡・唱歌に親しむ機会を提供する活動です。0歳から3歳の乳幼児や未就学児とご家族を対象に、育児に関する深い知識を持つ講師によるセミナーと、童謡コンサートとの二部構成で実施しています。

これまでの参加者数

**10,158人**

※2023年3月時点



由紀さおりさん・安田祥子さんによる童謡コンサート



子育てセミナーの様子

# 被災地の復興と、さらなる発展を願って



トルコ南東部地震による被災地の様子

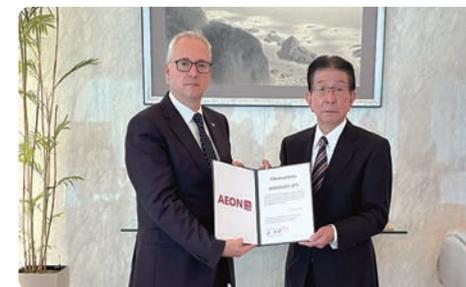
## 緊急災害復興支援

大規模災害により被災した方々が、日常生活を一日でも早く取り戻せるよう、復旧・復興を支援しています。国内外で発生した災害の被災地において、復旧・復興活動にお役立ていただくため、迅速な緊急支援金の寄付等を行っています。

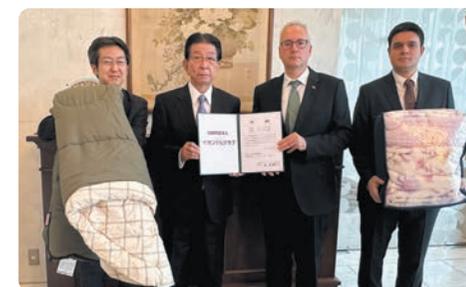
### トルコ南東部地震被災者への緊急災害復興支援

2023年2月14日、駐日トルコ大使館にて、同国南東部で発生した地震の被災者の方々に対する緊急支援金 1,000万円をコルクット・ギュンゲン大使にお渡ししました。その際、復旧・復興には時間がかかり、厳しい寒さが続く中、避難生活を余儀なくされている方が多くおられることをお伺いしました。

そこで3月10日、再度駐日トルコ大使館を訪問し、毛布6,000枚、寝袋2,000枚を寄付する旨をお伝えいたしました。これらの支援物資は、羽田空港からトルコへ空輸され、被災者の皆さまにお役立ていただいています。



2月14日の贈呈式



3月10日の贈呈式



羽田空港に運び込まれる支援物資

# 「首里城を再び」と願うすべての人々の心とともに



焼失前の首里城正殿

## 首里城復興支援プロジェクト

2019年10月末に発生した火災で甚大な被害を受けた首里城の復興を支援するため、5年間で5億円の寄付を行うことを表明し、毎年、支援金1億円を沖縄県に贈呈しています。

2022年秋、正殿の復元工事の開始に合わせて、修復の際の伝統行事である「木挽式(こびきしき)」に倣った復興記念イベントが現地で開催され、イオンワンパーセントクラブも参加しました。

復元に使用する木材が運ばれる際に行われる沖縄伝統の踊りにイオンチアーズクラブのメンバーが挑戦したほか、首里城の木材を再利用した木工体験のワークショップや「イオンチアーズクラブ首里城復興支援ポスターコンクール」を実施。入賞した169作品を全国から集めて展示し、首里城公園内で表彰式を行いました。



イオンチアーズクラブ首里城復興支援ポスターコンクール最優秀作品



正殿の復元に使用される木材の前で伝統踊りに挑戦



ポスターコンクール表彰式に参加したイオンチアーズクラブメンバー



沖縄県庁で行われた復興支援金贈呈式

# イオンワンパーセントクラブのあゆみ

1990年の設立以来、多くの皆さまのご協力のもと、  
小売業の特性を生かした数多くの社会貢献活動に取り組んできました。  
これからも、次代を担う子どもたちの未来を応援し続けます。

1990  
「イオングループ  
1%クラブ」設立



● 「小さな大使」第1回  
(現：ティーンエイジアンバサダー)



1996  
● 環境庁 (現：環境省)  
「こどもエコクラブ」  
活動支援スタート

2006  
● 「イオンスカラシップ」  
スタート

2005  
「イオン こどもエコクラブ」から  
「イオン チアーズクラブ」に改称

2000  
● 学校建設支援事業カンボジアでスタート



カンボジアのクメール文化の  
継承を願い建設を支援

2007  
♥ 「シハヌーク・イオン博物館」完成  
♥ 地域行事支援スタート

2008  
♥ 「イオン すくすくラボ」  
スタート

● 「小さな大使」を  
「ティーンエイジ  
アンバサダー」に改称

2011  
♥ 東北支援  
スタート

2010  
● 「日本 中国 ティーンエイジ  
アンバサダー」をスタート  
● 「イオンユニセフ  
セーフウォーター  
キャンペーン」スタート



2009  
● 「ティーンエイジ  
アンバサダー同窓会」を実施  
● 「アジア大学生  
環境フォーラム  
in ベトナム」第1回  
(現：アジア ユースリーダーズ)

2016  
♥ 未来農業 Days  
サポートを  
スタート

♥ 「福島キッズ森もり  
プロジェクト」スタート

2018  
● 「日本 中国  
ティーンエイジ  
アンバサダー」  
10周年記念事業

2017  
● 「アジアユースリーダーズ」  
第1回「食と健康」を  
テーマに日本で開催

2015  
公益財団法人へ移行

2012  
● 「イオンエコワングランプリ」  
第1回開催



♥ 「イオンふるさと発見伝」スタート

2019  
● 30周年記念事業を実施



2022  
● わくわくキャッシュレス・  
お金の学習スタート



♥ 首里城復興支援ポスター  
コンクールスタート



2020  
♥ 「首里城復興支援プロジェクト」  
スタート



# イオン チアーズクラブ参加者の声

## 店舗見学ツアー・オリジナルバーガー作り

### メンバー

今日初めてで緊張したけれど、いろんなスタッフさんのおかげで楽しく過ごすことができました！

お店の見学をしたとき、豆からできた植物由来の肉があることを知りました。ハンバーガーのお肉が豆から作られた肉と知って、本当に豆からできたの？と驚きました。

### 保護者

子どもに食べることの大切さを知ってほしいと思って、応募しました。自然の中での体験を通して、食や環境への興味をどんどん持ってほしいです。他のお友達と協力して成長していける姿が見られたらと思います。

普段買い物に来る時と違い、色々なマークを探しながら目を輝かせている姿が嬉しかったです。

朝来るとき本人はそれほど乗り気ではなかったのですが、会場に入って、楽しい雰囲気と同じ年頃の子どもたちがたくさんいるのを見て、大喜びでした。



# 2023年度 活動予定

小中学生が自然や環境にふれて体験学習を行う「イオン チアーズクラブ」や、高校生の国際交流事業「ティーンエイジ アンバサダー」、「首里城復興支援」など、国内外でさまざまな活動を実施します。

## 子どもたちの健全な育成

### イオン チアーズクラブ

7月下旬-8月上旬：全国大会（4日間）  
2月-3月：壁新聞発表大会（9地区）

### 中学生作文コンクール

7月-9月：作文募集 ★  
9月：選考（書類審査）  
11月：表彰式

### イオン エコワングランプリ

7月上旬-9月下旬：エコ活動の募集 ★  
10月：書類審査による一次選考  
11月：地区大会  
12月初旬：最終審査会・表彰式

### 学校建設支援事業

9月中旬-10月中旬：学校建設支援募金実施 ☺  
11月上旬：学校建設支援募金贈呈式

### イオン ユニセフ セーフウォーターキャンペーン

4月中旬-5月中旬：イオン ユニセフ セーフウォーター  
キャンペーン募金期間 ☺  
6月中旬：イオン ユニセフ セーフウォーターキャンペーン  
支援金贈呈式

## 諸外国との友好親善

### ティーンエイジアンバサダー（日本・ベトナム）

11月中旬（6日間）：ベトナム高校生来日  
1月中旬（6日間）：日本高校生訪越

### アジアユースリーダーズ

8月下旬（5日間）：日本で開催

### イオン スカラシップ（日本）

7月中旬（1泊2日）：認定証授与式・セミナー  
1月下旬：就職活動応援セミナー  
2月下旬：修了式

### イオン スカラシップ（海外）

4月-5月：日本語スピーチコンテスト  
7月下旬：日本語スピーチコンテスト表彰者訪日研修  
11月-12月：認定証授与式

## 地域の発展への貢献

### 首里城復興支援

10月下旬：復興支援金贈呈式 ☺

### イオン すくすくラボ

5月、8月、11月、1月：年間4回実施

### イオン ふるさと発見展

9月-10月：1回実施

- ★ **ご応募ください**  
イオン1%クラブのホームページで順次、  
詳細を公開します
- ☺ **ご協力ください**  
全国イオングループ店舗で募金活動を実施します

# 理事・監事・評議員一覧

※氏名五十音順 ※2023年6月時点

理事長	現職
森 美樹	イオン株式会社 相談役

理事	現職
池野 隆光	ウエルシアホールディングス株式会社 代表取締役会長
大野 恒太郎	公益財団法人国際民商事法センター理事長
鹿取 克章	公益財団法人日韓文化交流基金 理事長
小島 明	一般財団法人国際経済連携推進センター 理事長
ジョン・ギャスライト	株式会社ソリークライミングワールド 代表取締役
徳田 克己	筑波大学 名誉教授
西谷 義晴	元イオン株式会社 執行役
吉田 昭夫	イオン株式会社 取締役 兼 代表執行役社長

監事	現職
瀬戸 英雄	LM法律事務所 代表パートナー 弁護士
森 正勝	国際大学 特別顧問 名誉教授
若生 信弥	元イオン株式会社 執行役副社長

評議員	現職
岡田 元也	イオン株式会社 取締役 兼 代表執行役会長
柴田 英二	イオン株式会社 顧問
辻 善則	株式会社社マネジメント研究所 所長
時岡 暁	元イオンマルシェ株式会社 代表取締役社長
藤崎 一郎	一般社団法人 日米協会 会長
村木 美貴	千葉大学大学院 工学研究科 教授
望月 晴文	東京中小企業投資育成株式会社 代表取締役社長
山下 昭典	イオン株式会社 顧問
横尾 博	元イオン株式会社 取締役会議長
渡辺 好明	新潟食料農業大学 学長

# イオンワンパーセントクラブとともに

## — 寄付・協賛企業代表より —

当社はイオングループのディベロッパー事業を担い、主にショッピングモールの開発・運営を行っています。現在日本全国に加え、中国、ベトナム、インドネシア、カンボジアにて事業展開し、約200施設を運営しています。

当社は経営ビジョンに、「社員一人ひとりが Life Design Producer として、事業活動を通じ、地域とともに“暮らしの未来”づくりをサポートすること」を掲げ事業活動を行っています。また、持続可能な社会の実現をめざし、ひとつひとつの事業活動をサステナブルな未来へつなげるため、「どんなときも安全・安心な施設であること」「健康で生き生きとした暮らしをサポートすること」「その地域ならではの伝統や文化を発信すること」「環境に配慮して自然と共生していくこと」など、地域社会のためにできることを追求し、さまざまな取り組みを実践しています。

不確実性の時代においては、社会変化の予兆を敏感にとらえ「市場に新しい価値、お客さま価値を創造し続ける」ことに加え、「経済的価値のみならず、社会的価値を高め、地域社会に期待される企業であり続ける」ことが、サステナブル企業の条件となります。

このような考えのもと、当社は、イオンワンパーセントクラブの事業の柱の一つである「地域の発展への貢献」に向けて、次代に継承すべき地域独自の文化の保存・継承に取り組み、2022年度は約20モールにおいて、約40の地域伝統行事を実施するなど、モールの規模・特長を活かし、多くのお客さまとつながる機会を創出することに取り組みました。本年も、イオンワンパーセントクラブをはじめ、イオングループ、そして、すべてのステークホルダーの皆さまとの共創による、社会貢献活動に積極的に取り組んでまいります。

イオンモール株式会社  
代表取締役社長 岩村 康次



当社はイオングループの中核企業で、総合スーパー「イオン」「イオンスタイル」などのお店を構えています。それぞれの地域社会やお客さまの声に耳を傾け、“地域密着型”のお店づくりに取り組んでいます。その一環として、イオンワンパーセントクラブが実施している、次代を担う子どもたちの健やかな成長を目的とする「イオン チアーズクラブ」の活動に積極的に取り組んでいます。

イオンワンパーセントクラブは、1996年に「子どもエコクラブ」の活動を開始し、2005年度からは「イオン チアーズクラブ」として、地域に根ざした環境学習や体験プログラムを行っています。現在、当社の300のお店を拠点に、約2,950名の子どもたちが登録し、各店舗の従業員がサポーターとして、それぞれの地域での活動を支援しています。

2022年度は「地元の食」をテーマに、初めてオンライン学習を開催。子どもたちは他県のクラブと交流を深め、その地域の食の魅力に触れることで、あらためて地元の食文化を知る機会となりました。また、「首里城復興支援」の応援活動では、ポスターコンクールに参加し、首里城の歴史を学びながら描いた、子どもたちの素晴らしい作品が集まりました。

グローバル人材の育成を目的とした「イオン スカラシップ」も支援しています。これは、アジア各国の大学生、日本で学ぶアジアの私費留学生を支援する制度です。卒業生は、さまざまな専門分野で活躍しています。

今後も当社は、「イオン」「イオンスタイル」の店舗を拠点として、イオンワンパーセントクラブとともに、活動を通じ、地域社会の発展に貢献してまいります。

イオンリテール株式会社  
代表取締役社長 井出 武美



## 寄附企業一覧 (2022年)

ウエルシアホールディングス株式会社	イオン九州株式会社
イオンモール株式会社	イオンタウン株式会社
イオン株式会社	ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社
イオンディライト株式会社	株式会社光洋
株式会社イオン銀行	イオン・リートマネジメント株式会社
イオンフィナンシャルサービス株式会社	イオンペット株式会社
マックスバリュ東海株式会社	株式会社サンデー
イオンクレジットサービス株式会社	イオンフードサプライ株式会社
イオンプロダクトファイナンス株式会社	イオンリカー株式会社
イオン北海道株式会社	イオン保険サービス株式会社
マックスバリュ西日本株式会社	イオン商品調達株式会社
イオン住宅ローンサービス株式会社	イオンマーケティング株式会社
まいばすけっと株式会社	イオン琉球株式会社
イオンアイビス株式会社	メガベトロ株式会社
オリジン東秀株式会社	株式会社未来屋書店

## イオンワンパーセントクラブからのお願い

次代を担う子どもたちのために、皆さまのご支援をお願いいたします。

イオンワンパーセントクラブでは、子どもたちの教育や国際交流、地域文化の保全などの活動に取り組んでいます。

今後、私たちの活動内容をさらに充実させていくために、皆さまのご理解とご賛同をいただけるようでしたら、ぜひご寄付をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

ご寄付の方法

現金の銀行振込でのご寄付

クレジットカード決済でのご寄付

WAONポイントでのご寄付

こちらのQRコードまたは以下のURLより、寄付受付画面にお進みいただき、ご寄付の方法をお選びください。

<https://aeon1p.or.jp/1p/about/donation/>



なお、当財団は、内閣総理大臣より「公益財団法人」としての認定を受けておりますので、当財団への寄附金については、所得税(個人)、法人税(法人)の控除が受けられます。当財団より、ご寄付の領収証をお送りいたしますので、申告の際にご使用ください。

※個人の方が控除を受けるには、現在、年末調整をされている方でも、確定申告が必要となります。

詳しい内容につきましては、最寄りの税務署にお尋ねいただくか、国税庁のホームページでご確認くださいようお願いいたします。